

スポーツ行動学科:オーストラリア・スポーツマネジメント海外研修

【研修主旨】

スポーツ先進国のオーストラリア、そしてスポーツツーリズムの発展が著しいゴールドコースト、ブリスベンに足を運び実際にスポーツビジネス、スポーツイベントなどを体験する。現地の大学生との交流を通じて外国文化を学ぶことや実際に現地のスポーツイベントにも参加する。さらにはフィールドワークの時間も設け、自分で考えて行動する大切さについても理解を深める研修とする。

【研修日程】

2025年2月26日(水)～3月5日(水)

【訪問先】

オーストラリア ブリスベン、ゴールドコースト

【事前研修】

1月17日(金) 事前研修①13時～14時半 1-213 教室

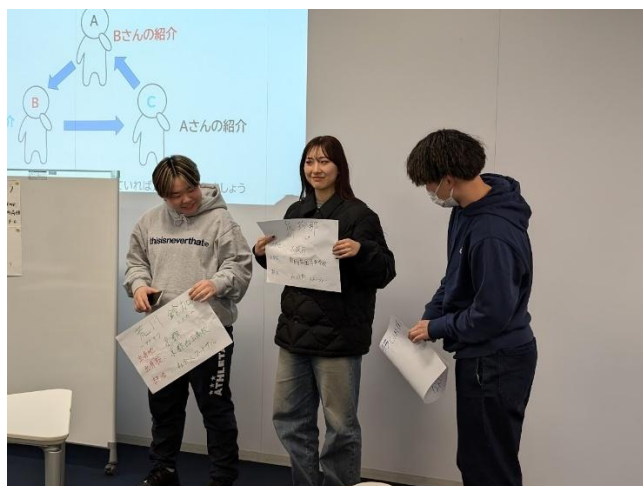
- ・事前アンケート結果報告
- ・他己紹介
- ・スケジュールの確認(暫定)
- ・その他(ホテル部屋割り、オリジナルTシャツデザインなど)

2月6日(木) 事前研修② 13時～14時半 1-213 教室

- ・スケジュール最新情報シェア
- ・前回の宿題プレゼン(1 豪州文化、2 スポーツマネジメント、3 サーファーズ)1 グループ 7 分
- ・現地の日別担当の決定

2月21日(金) 事前研修③ 15時～16時半 1-213 教室

- ・スケジュール最終確認
- ・各日の説明プレゼン(1 人 3 分)
- ・JTB、INT からの説明



【① 2月26日(水)】

●出発



・海外で学びたいと思っていること(学生への事前アンケートより)

「オーストラリアのスポーツマネジメントについて実際に目で見て経験したい。英語を少しでも話せるようになりたい。」

「現地の文化や、習慣の違いを知り、日本では感じられないようなものを学びたい。そして、様々な価値観を知りたい。」

「日本のスポーツ文化まだまだ発展の余地があるのでしっかりと日本に持ち帰れるものを持って帰りたいです。」

「日本と海外でのスポーツの違いや教育の内容などを学びたいと思っています。」

「日本とのスポーツ関連の違いや、文化の違いなどの多様性から新たな価値観や考えを学びたいです。」

「海外ってどんなものなのか。現地のスポーツを知りたい。」

【② 2月27日(木)】

●LIONS FC

ブリスベンにあるサッカークラブ「LIONS FC」へ訪問。オーナーのロブ氏のアテンドで施設内の見学。
その後、地元でスポーツビジネスに営む日本人からの現地スポーツ事情のレクチャー。



・学生のレポートより

「日本と海外とで、そもそものクラブのあり方が違うこと、考え方が違うことが 1 番驚き、そして面白い部分だと感じました。」

「ライオンズ FC に訪問することによって日本とオーストラリアとのマネジメントの目的の違いや言語の壁の中でコミュニケーションを取ることの難しさ、意思表示を積極的にしていくことが重要であることを学んだ。」

「仕事かサッカーどちらかではなく両方できるようにするという考えで、今日のレストランで働いていた人もサッカー選手の方がいた。」

「lions FC のオーナーさんであったり、お店の人との会話で英語の読解力が必要なんだと感じた。ある程度の単語は分かっているけど、文章を理解することが難しかった。」

「日本の傾向として見られるお金のためにお金を作るのではなく、地域の人のお金を作るというプロセスの違いが見受けられた。このことから、日本はビジネス化しすぎているともいえる。お客さんは、自分たちからお金を巻き上げようとしているクラブなのか、自分たちを充実させようとしているクラブなのかを見ているため、アプローチ方法が大切。」

【3月28日(金)】

●Pacific English Study(1) 英語学校(大阪国際大学学生のためのクラス)

●BBQ(オーストラリア流の BBQ 体験)

●フィールドワーク～報告会の開催(プレゼンテーション)



・学生のレポートより

「フィールドワークで TENNIS PLUS に行き日本とは違いテニスコートが 10 面あり一般の方も自由に利用できることがわかった。また、テーブルサッカーやチェスが置いてあったりカフェやアイスクリームの販売などがあり日本の経営の仕方の違いが見れた。」

「日本とのメジャースポーツの違いがすごいと思いました。スポーツ用品店では日本では野球の用品がとても多いんですけどオーストラリアではラグビー、バスケがとても多かったです。」

【④3月1日(土)】

●Park Run(in Main Beach)

5キロのランニングイベントに参加。地元のスポーツイベントを体感。

●Lions FC Women vs Gold Coast United Women(NPL Women)観戦

2月27日に訪問した LIONS FC サッカー場で試合観戦。



・学生のレポートより

「パークランをして無料で参加できて子供から大人までたくさんの人が走っていた。犬を連れて走っている人もいた。すべてボランティアでされているのにこんなに参加者がくると思わなかったしボランティアの方もたくさんいてとても走りやすかった。」

「無料のイベントで運営やなぜ朝からこんなに人が集まるかなどを考えることが出来ました。日本では運動をする＝キツイ、しんどいなどネガティブなこと、好きな人だけがやるといった文化ですが、オーストラリアでは走ることを運動と捉えていないような、朝から集まることや、行動を起こすことに意義を感じているように感じました。」

「ライオンズ FC はアマチュアながら見に来ている人がとても多くスポーツに対する意識関心が全然違うと思いました。ライオンズバーガーなどそこでしか食べられないものがあってとても良かったです。」

「女子チームでプロではないのに応援の人数が多い。試合で髪の毛のリボンをつけている人はいないが、オシャレをしていた人を見つけた。駐車場から応援をしている人が居て、応援場所が自由であるし開放的でいいと思った。」

【5月2日(日)】

●HOTA Markets

日曜日の午前中は、家族や友人とのんびり過ごすのがゴールドコースト風。地元のマーケットを体感。

●SGC Long Course Championships 視察(in Gold Coast Aquatic Centre)

水泳大会の視察。水泳に対する知識があまりない中で学生が現地でリサーチを行なう。



・学生のレポートより

「ホタマーケットに訪れた時に感じたことですが、日本ではあれほどの数多くの店が立ち並ぶことはお祭りの時くらいですがオーストラリアは毎週日曜日に開催されていて、食品を購入したり、私たちのようにご飯を食べるなど出来てより、健康的な朝になるなと感じました。」

「HOTA Markets でお店販売をたくさんしていたので、食べ物やお土産を買うときに、店員さんに自分が買いたいものをゆっくりだけど英語で伝えることができました。」

「アクアティックセンターに視察に行きまず日本のプール施設とは比べ物にならないくらい大きかった。プールとは別にジムやカフェがあった。メインプール、サブプールとは別に遊べるようなプールやスクールのプールも隣接されていた。」

「水泳施設はとても大きく日本とは規模が違いました。50m プール 2 個 飛び込み用プール ウォーキングプールがあってとても凄かったです。」

【6月3日(月)】

- Pacific English Study(2) 英語学校(一般の生徒のクラスに混ざって授業)
- Surfing school(天候不順の為ビーチアクティビティに変更)
- 現地在住日本人の皆さんとの夕食会 in Hurricane's Grill & Bar Surfers Paradise



・学生のレポートより

「語学学校では3人の日本人の方に助けられました。スペイン語の方も多くとても発音が聞き取りづらかった。」

「オーストラリアの人はみんな話を理解しようとしてくれて伝えようとしてくれる。すごく嬉しかった」

「ビーチアクティビティでビーチフラッグやドッジボールなど、ビーチがクローズした際にでも楽しめるようなプログラムが用意されていたことな驚きを感じました。」

「オーストラリアで生活されている3人の方からオーストラリアの人々の考え方を詳しく聞いて日本との違いを知ることができた。」

【⑦3月4日(火)】

●Emerald Lakes Golf Club

ゴールドコースト 1、2 を争う集客力をほこる Emerald Lakes Golf Club へ訪問、GM のアテンドのもと施設見学と質疑応答。



・学生のレポートより

「ゴルフクラブに訪問して施設の作りや、どのように収入源を得ているかなどを学ぶことが出来ました。ゴルフクラブでゴルフ場のほかにもフットサルコートが 6 面、テニスコート、移動式の屋根の着いた打ちっぱなしをする場所、ゴルフレッスンを受ける場所、クラブハウスの中にはレストランの他にスポーツベットができるところやスロットなどの設備があることを知りました。」

「ゴルフクラブではオーストラリアならではの壮大な土地を活かしたビジネスがあった。例えば広告収入であったりフットサルコートであったり食事であったりと様々な角度からお金を稼いでいるのだとわかりました。」

「実際に英語で質問をした。翻訳を調べても単語が読めなかったり、スムーズに話せず詰まってしまった。実際に現地の人と話すことで、改めて他言語の難しさを体感したとともに、完璧ではなくとも少しでも伝えようという意志を持つチャレンジ精神の重要さにも気付くことができた。」

【⑧3月5日(水)】

帰国

・学生のレポートより

「私はこの海外研修でスポーツ面、考え方、暮らしの面などさまざまな面で学ぶことができた。初めにオーストラリアの人々の国民性に感動した。日本人である私たちにフレンドリーに対応してくれたり個性が溢れていて枠に囚われない生き方をしている人が多かった。またそれをそれぞれが尊重し共存していて何かに追われることなく自由に生活していることに気づいた。」

「言語の壁があり苦戦することがあったがこれも全て思い出、経験でとても良い機会だった。様々な場所に行き実際に目で見てみると日本と違い規模が大きくレストランやバーなどスポーツを行うための施設では無いということがわかった。」

「スポーツに関しては、本気でスポーツが好きな人が楽しめる、成長できる環境が整っていて試合中でも笑顔が見られた。人と人とのコミュニケーションが盛んで街中でもハイタッチや笑顔で話している様子が見られた。」

「海外では自分は自分、もっと自分を持とうと思いました。もっとラフに考えて行こうと思えました。そしてスポーツビジネスについても詳しく学べたし 1 点の視点から稼ごうとするのではなく視野を広くみて様々な角度からお金を稼いでいくのを肌で感じました。」

「スポーツ面では生活の中でスポーツを身近に感じ、公園やプールにもスポーツに触れ合いやすいような工夫を見つけることができた。またオーストラリアの人は朝早くからランニングなどの活動することが多いと知ったのでパークランなどのスポーツイベントにも参加する人が多いことが学べた。」

「日本と比べてスポーツが盛んで何故こんなにも違いがあるかという部分について着目して訪問しましたが、日本での捉え方はスポーツでお金を稼ぐといった考え方ですが、オーストラリアでは仕事や学校を第一にスポーツは二の次、そしてゴルフ以外にもスポーツができるような場所を作ることができると言ったそれだけではなく他のスポーツや目的と両立できるような考え方をしているところに違いと魅力を感じました。」

「健康に対する考え方が違うのかなと感じました。朝ご飯を食べに行く時も parkrun の時も、ジョギングやランニングをしている人が多く、常にどこ行く時でもその場面を見ることが多かったので、運動をする人が日本よりも多くいるように感じました。」

以上